１. 名称　　 **本　部 事務局**

　　所在地・電話　　千葉県 柏市 大津ヶ丘 3-4-1-101 電話　04-7199-7931

　　開所日数　:　5 日/ 週　　　　開所時間　:　8 時間/日 9:00 – 18:00

 職員体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 職　種 | 勤務形態 | 勤務日数 |
| 小池 和雅 | 事務局長 | 常勤 | 週　5日 |
| 吉田 満 | 事務局員 | 非常勤 | 週　4日 |
| 奥山 明美 | 事務局員 | 非常勤 | 週　4日 |
| 大澤 利香 | 事務局員 | 非常勤 | 週　1日 |

令和2年度本部目標

1. 定員数に見合う新規利用者の確保

(2) 業務の合理化

総括

　　今年度は当初よりコロナ禍により経済全体が低迷する中で福祉関係にも影響が少なくなかった。当法人においても通所事業所が１.５か月の休業を実施した。そのため事業活動が計画通り進むことが出来なかった。かつて経験したことのない生活の制限を受ける中で感染防止対策を徹底の上、利用者の安全を確保して事業活動を進め、2名(事業所は異なる)の利用者の陽性が確認されたものの法人内で新型コロナ感染症の濃厚接触者は確認されなかった。イベントは中止、施設外就労は規模縮小となり、日中系事業所の授産収入に大きく影響した。

　　一方訓練等給付は利用者の通所休止期間において電話支援が給付の対象になり、給付費についてはほぼ当初見込みで推移することが出来た。さらに国より各事業所に「コロナウイルス感染緊急包括支援事業」の支援金が給付され、各事業所の感染防止対策に活用することが出来た。

　コロナ禍で以下の事業活動を行った。 ① 外部講師を招聘し管理者研修の実施、② 第１回書面理事会以外の理事会・評議員会を対面形式で開催。③ リーダー会議・サビ管会議のリモート併用開催施。④ ホームページの刷新・広報活動用チラシの作成。⑤ ６月よりグループホーム沼南荘の夜勤体制の実施。⑥ ８月よりワンルームグループホームの運営開始（現在３名利用）。 ⑦ 理念の刷新。⑧ 利用者アンケートの実施。⑨ 職員処遇見直し等を行った。⑩ 国へコロナ対策支援金の申請を行い法人全体で166万円の支援を頂きコロナ防止関連物品を購入させて頂いた。

(1) 新規利用者の確保のための活動

・広報活動

A4三つ折り　法人よつば　事業所案内のチラシ作成　病院・行政・事業所に配布

ホームページの刷新

よつば　だよりの発行(隔月)

　　　⇒　　居住系事業所・日中系事業所 とも見学者の増加がみられた。

(2) 業務の合理化

　・「クローバ北柏」が「沼南荘」に併合し管理の一本化を実現し 人件費・事業費の合理化を図った。空部屋の1室を契約解除させて頂いた。更に 現在使用している部屋については、次回の契約更新をする代わりに相部屋でなく1人で住まう為にオーナー様のご厚意により家賃を生保限度に下げて頂いた(5.2万→4.1万円 ) 。

・定例のリーダー会議、サービス管理責任者会議 についてもコロナ禍により リモート会議 を採用し 遠方の事業所については ウェブ参加となっている。 実践してみると移動時間の節約が業務の合理化にも通じ、コロナ禍後も継続の可能性が大いに考えられる。

(3)重点目標への取り組み

・利用者ニーズに応えて

◃ 入居希望者の問い合わせの多い1Kタイプのグループホームを柏市逆井に、アパートを借り「沼南荘Ⅵ (グリーンハイツ」を開設

◃ 利用者の「声」を法人運営につなげるように利用者アンケートの実施

・法人運営体制の確立として

◃ 法人役員・職員の共有するよつばの「理念」を刷新した。

◃ 新年度より新理念を意識し活動を推進する。

◃ 職員育成のための外部講師を招聘し管理者研修の実施

◃ 地域社会への啓発講演会は、コロナ禍の為今年度は開催することができなかった。

・社会保険社労士との顧問契約

　　当法人の顧問社労士として　特定社会保険労務士　吉澤智子氏を招聘。

雇用整備・雇用問題・労働問題など専門家の的確な助言を得て、職員の人事制度や賃金制度など総合的に現在助言を受けている。

**法人全体の報告**

・規程類 改正　　「経理規程」「経理規程細則」

　　　　　　 　　「役員報酬規程」

・規程類 新設　　「宿直勤務規程」「文書保存規程」(未承認) 「夜勤規程」「シニア規程」

　　　　　　　　 「職員資格取得助成規程」

・職員数

令和3年3月30日現在

正規職員　　　　　　　14人

非正規職員（夜勤含む）53人

ボランティア様 援助　 (延べ人数)

　　　　　　ハートシップ　　　個人

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工房 | 81 | 26 |  |
| 青い鳥 | 101 |  |  |
| クローバ柏 | 82 |  |  |
| かるのこ |  | 39 |  |

事故・苦情・ヒヤリハット　まとめ (全期)

事故　17件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生月日 | 事業所 | 内　容 | 備　考 |
| 5月10日 | 沼南荘 | 男性入居者が浴室で倒れ救急隊員により死亡が確認された。 | 警察の扱いとなり死因は心臓病とのこと。ご本人の甥により葬式が行われた。 |
| 5月23日 | 沼南荘 | 男性入居者が小学生に痴漢行為。 | 警察が介入し入院となり、その後退所となった。 |
| 6月11日 | 沼南荘 | 以前の退所者が別の男性の部屋に入り10万円を借りていった。その後15日に5万円、20日に5千円を貸してしまった。 | ドアに警告文掲示、夜勤者の巡回強化、退所本人への警告等対応。その後姿を現さず。 |
| 7月15日 | よつば工房 | 弁当箱回収時対向車とすれ違えずバックした際、後部をガードポールにぶつけた。 | 職員、ガードポールに損傷は無かった。 |
| 7月18日 | 沼南荘 | 入居者に意識が無いのを同居者が発見し職員を通じ救急車要請。病院へ搬送。 | 検査の結果、脳には問題無く、本人より1日分のｵｰﾊﾞｰﾄﾞｰｽﾞをしたとわかった。 |
| 8月20日 | 青い鳥 | 通所が途絶え携帯も通ぜず安否確認に行ったところ動かない本人を確認、救急要請。救急隊により死亡と判断された。事件性は無し。 | ご家族(妹)により葬式が行われた。 |
| 9月30日 | クローバーハウス（施設内） | 204号室50代男性利用者が、強引に玄関の鍵を掛け、鍵の先端が破損し、鍵穴から抜けなくなる。2日間玄関の鍵は開いたままとなった。 | 業者を手配し10/2工事完了。工事完了まで、居室の鍵掛けを徹底。204号室全利用者、新しい玄関鍵へ交換。 |
| 10月11日 | クローバーハウス（施設内） | 60代女性利用者が夕食の調理中、包丁で左手小指の先端を切る。 | 状況確認。応急処置。30分程で止血。翌日、整形外科受診。縫う程の怪我では無く1週間程で完治。 |
| 11月5日 | クローバーハウス（施設内） | 20代男性利用者が千葉市内にあるスポーツジムを利用。汗を拭く際に眼鏡の鼻止めが左目に入り激しい痛みが出る。 | 家族が対応。救急要請したが受け入れ先が見つからず。翌日に眼科受診。角膜剥離を診断。1週間程点眼治療をした。 |
| 12月初旬（事後報告の為日時不明） | クローバーハウス（施設内） | 70代女性利用者が、夜間、トイレに起きた際、転倒し後頭部をぶつける。 | 転倒時、患部は酷く腫れあがったが、特に受診等せず。 |
| １２月21日 | 沼南荘 | 入居者が万引きの為警察に逮捕される。 | 事件後相談支援と事業所と共有して対応する。退所 |
| 1月20日 | クローバーハウス（施設内） | 60代女性利用者が、日中活動先へ行くため、蘇我駅東口側の階段を下りている途中、階段を踏み外し前向きに転倒した。 | 左手のひら、右膝は擦り傷程度、左足くるぶし周りと甲を打撲。患部の確認及び湿布薬の処置。歩行可能であったため、受診はせず経過観察。 |
| １２月25日 | かるのこ | 職員が運転する作業車が普通乗用車と接触事故を起こす。 | 当方に過失あり、職員へ厳重注意。 |
| 2月9日 | かるのこ | 利用者がスライサーで右手小指を切る。 | 労災手続きを行う。 |
| 2月26日 | 青い鳥 | 利用者の母が泣きながら事業所に駆け込んでくる。 | 警察に状況説明、警察同伴で帰宅 |
| 3月１5日 | かるのこ | 職員が運転する作業車が利用者3人を乗せた状態で乗用車と接触事故を起こす。 | 当方に過失あり、職員へ厳重注意。利用者、相手に怪我人は無し。 |
| 3月23日 | クローバーハウス（施設内） | 60代女性利用者が自室にて転倒し、近くにあったゴミ箱に胸を強く打ち付けた。 | 事故発生の翌日に報告を受け、症状等を確認。痛みのみ、他に怪我は無い。 |

苦情　　　7件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生月日 | 事業所 | 内　容 | 備　考 |
| 7月10日 | よつば工房 | 男性職員より女性利用者に対し 嫌がる行為をされた。1. 手でｸﾙｸﾙﾊﾟｰとｼﾞｪｽﾁｬｰされた2. 手の甲に赤ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝでチョンとされた3. ヘアゴムを隠された4. 足でちょっかいを出された。 | ・警告書 発行・始末書 提出・本人から謝罪( 8/24 ) |
| ７月27日 | かるのこ | 従業員から「自分が話していない職員から自分のプライベートのことを言われ驚いた」 | 自分からプライベートのことを当該職員に話していたことが判明。 |
| 8月19日 | クローバーハウス（本人） | 50代男性利用者より、8/18夕食時にお釜洗い当番に立候補したが、70代女性に無視された。お釜洗い当番については、非協力的だと陰口を言われる事がある。 | 話し合いは希望せず。様子見となった。 |
| 8月26日 | クローバーハウス（施設内） | 60代男性利用者より、定額給費金10万円のうち１万円が欲しいと申し出があったが、ギャンブルが発覚したことで１万円が貰えなかった事に不満が出る。 | 金銭管理の決まり事に準じ、１万円は渡さず。本人・関係者にてケース会議を行い、金銭管理（給付金の取り扱い含む）の仕方について取り決めた。 |
| 9月1日 | かるのこ | かるのこパートタイマー職員の利用者に対する指導方法に問題がある。 | 9/30　改善計画書の内容に納得して頂く。 |
| 11月30日 | クローバーハウス（施設内） | 50代男性利用者より、夕食時に女性利用者から手洗いうがいの方法について指摘され暴言とも取れる発言を受ける。 | 話し合いは希望せず。様子見となった。 |
| １２月24日 | 沼南荘 | 落とし物を拾い１か月間交番に届けず所持していた | 職員が交番に届け出て、もち主に落とし物が戻る。落とし主も感謝していた。 |

ヒヤリハット　10件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生月日 | 事業所 | 内　容 | 備　考 |
| 4月17日 | クローバーハウス（施設内） | 204号室50代男性利用者の喫煙行為により、玄関・キッチンを含む共有スペースに煙草臭が充満。 | 火事の危険性が無いか確認。本人と面談実施。 |
| 8月5日 | かるのこ | 結婚を理由に退所する内容が、話していない人に漏れている。 | 聞き取りにより、本人の勘違いと判明。 |
| ９月28日 | かるのこ | 厨房内で油により滑り、転倒。ケガは無し。 | 転倒防止用のマットを敷く。 |
| 10月６日 | かるのこ | お米の入った釜を移動する際に床に落とす。ケガは無し。 | 2人で移動する対策を実施。 |
| 10月9日 | クローバーハウス（施設内） | 204号室利用者より、玄関ドアクローザーの固定ネジが外れかけていると報告を受ける。 | 現場確認し、応急処置。新しいネジを購入し補修。ドア開閉時の注意を促す。 |
| 10月16日 | 青い鳥 | 青い鳥からことりに昼食を運ぶとき自転車と接触しそうになる | 商店街の中であるが移動時注意をすることを徹底する |
| 11月20日 | クローバーハウス（施設内） | 202号室60代女性利用者の所持する鍵2本（玄関・居室）を紛失したと報告を受ける。 | 202号室同室者より、冷蔵庫の上に置いてあるとの情報を得、鍵を発見した。 |
| １２月24日 | 沼南荘 | 落とし物を拾い１か月間交番に届けず所持していた | 職員が交番に届け出て、もち主に落とし物が戻る。落とし主も感謝していた。 |
| 1月5日 | クローバーハウス（施設内） | 60代男性利用者が浜野駅前でスマホを拾い持って帰ってくる。 | 本人からの報告を受け、スマホは交番に届けた。 |
| 3月11日 | クローバーハウス（施設内） | 21時巡回時、202号室共同キッチンにIHクッキングヒーターの電源が入った状態で調理中の鍋が放置してあるのを世話人が発見。 | 火事に至るような状況にはならず。70代女性の不注意によるものであり、厳重注意。 |

職員外部研修参加実績　　　　　　　　　　(人)

|  |  |
| --- | --- |
| 本部・相談支援 | 7 |
| かるのこ | 4 |
| よつば工房 | 3 |
| 青い鳥 | 8 |
| クローバ柏 | 3 |
| 沼南荘 | 4 |
| クローバーハウス | 2 |

登録利用者数 (人)

|  |  |
| --- | --- |
| かるのこ | 19 |
| よつば工房 | 40 |
| 青い鳥 | 46 |
| クローバ柏 | 35 |
| 沼南荘 | 34 |
| クローバーハウス | 13 |
| 相談支援センター | 93 |
| 合計 | 280　人 |